

福祉用具

推進委員会の

啓発活動に密着！

～自助具と作業療法について発信（ふくじフエア2023）～

日時 令和5年10月22日(日)
会場 イオンモール高知

今後の意気込みを聞きました！

士会ブースへ多くの方に来ていただき、自助具や作業療法についての啓発、発信をすることができました。今後も福祉用具についての会員同士のつながりを深め、一般の方への啓発活動を行っていきます。



福祉用具推進委員会 委員長

二宮 康公 氏

(宿毛市立特別養護老人ホーム千寿園)

ふくじフエア2023

ふくじフエアは子どもから大人まで気軽に福祉、及び福祉の仕事に触れることができる福祉体験型のイベントとして今年初めて開催され、様々な職能団体が機器の展示や体験コーナーなどを通じて福祉の魅力を発信されていきました。

士会のブースは会場内の2か所にあり、自助具の展示や体験などを通じて作業療法の啓発をされていきました。休日のショッピングモールということもあり、家族連れやご高齢の方、学生など多くの方が来られており、行列ができています。時間帯もありました。

●士会の啓発内容

参加者の反応や部員の方の感想

委員の方より自助具の概要や展示をしている自助具の目的・用途についての説明があり、来られている方も興味深そうに聞かれていました。

また、自助具の体験として、「マジックハンドで床のものを取る」、「自助具のお箸やスプーンでピースをお皿へ移す」などをされており、体験された方の中には驚かれた反応をされる方もいらっしゃり、お子様はゲーム感覚で楽しそうに取り組まれていました。実際に啓発活動を実施した委員の方からは、「来られた方に何に使うものかと質問をされたり、その用途に驚かれるなど、多くの方に興味を持っていただけました」と来られた方々の反応を教えてくださいました。



自助具の体験を
してもらいました。



様々な自助具の
展示・説明を
行いました。



取材を通じて感じたこと

一般の方が自助具の目的や用途を知った際の驚かれています。自助具と生活「はともつながりがある部分であり、作業療法士として一般の方に正しい用途を知っていただき、より便利な生活が送れるように発信していくことが重要だと思いました。

取材文責 広報編集部 森 祐輔(だいちリハビリテーション病院)